

# しだみ東学区通信

Shidami East School district Communication News



◆編集・発行  
志段味東学区連絡協議会  
学区通信編集委員会  
名古屋市守山区大字  
中志段味字宮前 1175-1  
志段味東コミュニティ  
センター内  
TEL&FAX 052-736-4506

## 動員から参加型へ 進化する自治会イベント ——諏訪の原元気まつり

諏訪の原元気まつり（諏訪の原連自治会）が10月8日、名古屋国際学園で開催され、雨天のため午後のプログラムが一部を除き中止となりましたが、多くの住民がイベントを楽しみました。

午前中行われた女子サッカーチーム（朝日インテック・ラブブリッジ名古屋）に



プロ選手から直接指導を受けるチビッコ選手たち

による公開練習や選手らによるサッカー教室には、事前に申し込みのあった約50人の子供たちが参加し「プロ選手から直接指導を受け感激した」「憧れの選手から話しかけられ忘れられない思い出になった」など、歓喜の声が上がっていました。

また、キッズチアダンスも同じグラウンドでパフォーマンスが発表され、メンバーの家族や



会場に集まった多くの住民らが声援を送っていました。

一方、ステージ会場では、キッチンカー5台が提供するグルメを堪能しながら午後のステージイベントを待つ来場者の姿が多く見られました。雨天中止の案内に来場者の一人は「自然のことだからやむを得ないが、地元ミュージシャンの出演を楽しみにしていたので残念です」と話していました。

主催した元気まつり実行委員長の藤井慶彦さんは「今年は夏の暑い時期を避け、

10月開催を試みました。雨天により午後の部を中止する事となり、来場者や演者の皆様の期待に応えることができませんでしたが、今回のイベントでは、これまでにない様々な視点でチャレンジすることができたと実感しています。多くの関係者の皆様と一体となって企画を進めることができたことに改めて感謝を申し上げます。次回は晴れ男に徹します（笑）期待してください」と、来年度開催への意気込みを語りました。

来賓として参加した志段味東学区区政協力委員の鎌倉委員長は「開催時期の変更だけではなく、どうしても楽しく参加できるのか——実行委員会では多くの時間を要して議論を重ねアイデアを出し合ってきたと聞いています。一番の目的は地域住民と出演者が楽しく交流することです。今回は音楽だけではなく

スポーツ交流も取り入れられました。雨による中止を余儀なくされましたが、様々な発想でチャレンジする実行委員会の今後の活動に期待します」と、感想を述べました。

コロナ禍を経て自治会活動にも変化が見られてきています。従来どおりコロナ前の活動に戻すのか、あるいは時代に即した新たな発想・手法を取り入れるのか——自らが楽しむ、自らの考えで参加する、動員ではなく参加型の自治会活動に「進化」させる必要があります。



## 応募総数1691件、 校名は「上志段味中学校」に！

志段味中学校分離新設校建設準備委員会は9月15日、志段味東小学校会議室で6回目となる会議を開き、懸案事項であった新中学校の校名を「上志段味中学校」とすることで意見をまとめました。今後、教育委員会へ報告し、市議会で正式に承認されることとなります。

アンケートの応募総数1,691件のうち、約9割が児童・生徒によるもので、住んでいる人、外部の人にも分かりやすく、なによりも子供たちが親しみやすい校名であることなどの理由から、アンケート結果でも最多（479件）となった「上志段味中学校」が全会一致で選ばれました。

建設準備委員会では引き続き、整備計画の進捗状況を確認しつつ、校章のデザインや校歌などの選定を進めていくとしています。

順位	校名案	応募件数	主な理由
1	上志段味	479	・住んでいる土地の名前のほうが、子どもたちも親しみやすいから ・住んでいる人にも外部の人にもわかりやすいから ・上志段味に住む子どもが多く通う中学校だから
2	東谷	105	・名古屋で一番高い山であり志段味の誇りだから ・東谷山のようにしっかりした大人になってほしい ・東谷山を見上げる位置にあり励みになる
3	東谷山	54	・名古屋市最高峰の東谷山の麓にあるから ・東谷山の存在を広く知ってほしいから ・歴史があり、ずっと変わらない名前だから
4	古墳	47	・志段味には古墳が沢山あり神様が眠る場所だから ・名古屋の古墳地区を広く知ってもらうため ・他の地域にない個性的な名前だから
5	志段味東	44	・志段味地区の東側にあるから ・志段味東小の近くにあるから ・志段味中学校の東側にあるから

## まちかどインタビュー vol.8

### 市民の命と財産を守る消防のプロ

今回のインタビューは、守山消防署志段味出張所長の松林二郎さん（消防司令）です。危険な現場での消火活動や救助活動に対応した訓練の指導に取り組む一方、初期消火訓練など地域住民と連携した火災予防の啓発活動にも力を入れる消防・防災のプロとしての思いを伺いました。



志段味出張所長 松林さん

**Q. 志段味出張所に赴任される前のお仕事（前任地）を教えてください。**

—北消防署警防地域第二課警防地域係（本署）に勤務していました。

**Q. ずばり、お仕事の内容を教えてください。また、出張所の役割、本署との連携方法などについてもお聞かせください。**

—志段味出張所長として出勤外で平日勤務し、所内業務の管理や交代制勤務である出勤隊員22名の人員管理などが仕事です。また、出張所では出勤だけでなく、地域の方の利便性を考慮し、担当エリア地区別に地域防災活動等に関する各種相談の窓口としても本署と同様の受付業務を提供するため、各担当で常に連絡を取り合うなど連携を深めています。

**Q. 消防官という仕事に就いたきっかけは**

—小学校5年生の時に母が急病で救急搬送され、その時の強い印象です。

**Q. 印象に残っている出来事があれば**

—新任配属されてから4年が経過した平成12年（2000年）9月に発生した東海豪雨災害です。週休日の真夜中に職場から呼び出しがかかり、豪雨の中、自宅から4時間かけ出勤し、その後4日間連続で救出活動、河川復旧活動等に従事したことが私のパーソナルナンバー「4」が重なったこともあり、とても印象に残っています。

**Q. これから消防官をめざす人へのアドバイスは**

—まず、体力が一番です。とにかく強いからだを作ってください。名古屋市消防局は火事、救急や救助などの警防活動だけでなく、地域防災活動への支援についても重視しているので、志段味東学区内の地域防災活動等に積極的に参画してください。



下志段味長廻間にある出張所

**Q. 急速に開発（まちづくり）が進む志段味地区の住民への思い、まちづくりにおける地域防災の役割、重要性について教えてください。（消防団の必要性等）**

—今年4月に各戸配付された「洪水ハザードマップ」等に想定されているような未曾有の災害への防災対策を着実に進めていくためには隣近所での助け合いなどの地域防災力（共助）の向上が欠かせません。「後悔先に立たず。」という言葉があるように、まさに事前対策を徹底し災害に備えることが重要です。地域防災を推進する中、消防団は共助（地域）と公助（行政）の架け橋となる「地域防災リーダー」としての重要な役割を担っていただいております。現在、自主防

火訓練指導をお願いしています。

**Q. いまさら聞けない話なのですが（笑）、消防「署」と出張「所」の使い分けについてご教授ください。**

—明確な回答となるかはわからず、諸説ありますが、消防署の「署」は予防課のように「法律行為を取り締まる権限や告発権を持つ部署が配置されていること」を意味し、出張所の「所」は「地域住民と一体になり地域の安心安全を守ること」を意味していると考え、日々の業務を進めています。

**Q. 最後に、松林さんの「夢」を教えてください。**

—普段、休日には気分転換も兼ねてロードバイクでのサイクリングを楽しんでいるのですが、プライベートの夢としてはその旅先で新種の「化石」を発見することです。

ご協力ありがとうございました。



## 学区対抗ディスクドッチ 決勝トーナメントで3位入賞

第9回モリスちゃん杯学区対抗ディスクドッチ大会が7月1日、守山スポーツセンターで開催され、志段味東学区（15人参加）は予選リーグ2位で決勝トーナメント戦へ進み、優勝は逃したものの第3位の好成績を残しました。

学区スポーツ推進委員の小林さんは、「予選リーグでは決勝トーナメント常連2チームに勝利しており、チームとしての底力を十分発揮できた」と、最後まで戦い抜いたチーム全員をたたえました。



**編集後記** 進化するには挑戦し続けなければなりません。前例踏襲という自治会イベントの在り方を問うた元気プロジェクトの活動。次回も新たな風を巻き起こせるか期待します▼新設校のネーミングとともに議論となった校舎整備の在り方、予算のやりくりも大切ですが、必要なものは必要として、まずは自信をもって要望してみることが大切です。なにせ、今時珍しい新設校なのですから▼消火・救助活動に必要なのはチームプレー、もちろん消防隊の皆さんだけの話ではありません。防火・防災に欠かせないのが地域住民の連携です。大災害に備え、自助、共助の精神は必要不可欠です▼季節は変わり今年も残すところあとわずか、引き続き学区の諸活動にご理解とご協力をお願いいたします（K）